

元気おおとよは、
大豊町を元気にする民間の団体です！

2017秋号

平成29年10月1日発行No.19
特定非営利活動法人
元気おおとよ
http://www.genki-otoyo.org
お問い合わせ 080-8635-2253

元気おおとよ新聞

紹介します！

怒田地区
いちださいか
市田彩香さん



今回は京都から怒田に移住された市田彩香さんをご紹介します。

市田さんは、大学時代に授業を通じて怒田地区と出会ったそうです。「食・食品」に興味があり、耕作放棄地を借り、野菜作り・収穫・加工をして、大学のイベントや東京で開催されるイベントで販売をしていたそうです。その活動を通して、地域の人たちと怒田を残したいという気持ちが芽生え、地域を残すには移住者を呼び込みたいと漠然と移住を意識し始めたそうです。

5年間通い続け活動をしたのち、就職活動も終盤という時、「え！こっちに住まへんの!?」という地域の人たちの声に、「ここに住みたいな〜」という気持ちから「ここに住む!」という選択肢ができたそう。

「自分のいいところ、悪いところを知ってくれている地域の人がいる、5年間いろんなことにチャレンジしてきたこの怒田でもっと何かしたい!」そんな市田さんは、現在近藤ストアで働きながら、怒田でユズ園の管理をしているそうです。

夜には、大杉でバレーボールやバドミントン、落合消防団に所属するなど活発的に活動している市田さん。

みんなへの願いは、「移住者と呼ばないで!私はただ、怒田に帰ってきただけです!怒田のさいかちゃんと呼んでください!」とのこと。

私も市田さんを見ていると、地域に溶け込み本当に帰ってきただけなのだなと感じました。

「私がこの地域で何ができるか見つけ、3年以内に結婚!定住して、大豊町からオリンピックを観戦することが目標です!」と元気に答えてくれました!(中平)

ご報告!

移住体験ツアー『里山のしごととくらし ～高知県嶺北地域でしかできない生活体験～』



高知県移住促進課主催の移住体験ツアーのご報告。
去る7月22日(土)、23日(日)、『里山のしごととくらし～高知県嶺北地域でしかできない生活体験～』が開催され、5組7名の方が参加されました。

1日目は、ゆとりファーム見学、さくら市、サップ体験など。夜は、先輩移住者たちと交流会。

2日目は、土佐町道の駅、大川村訪問。

高知県内では、移住の取り組み先進地である嶺北地域で、豊かな自然と触れ合い、先輩移住者の声を聴き、おいしい郷土料理を堪能した2日間だったといえるでしょう。このツアー後、嶺北への移住を具体的に検討されている方が数名いらっしゃいます。どんな方が来られてもあたたかくお迎えしたいものです。(野田)

▲さわやか大豊さんの郷土料理でおもてなしました。

ご参加ください!

10月30日(月) 18:00開演・農エセンター

『自伐型林業講演会 ～私たちの手で拓く里山の未来～』

大豊町で自伐型林業に関する講演会が開催されます。

講師に、中嶋健造さんと宮崎聖さんをお招きして、家族・グループ・集落などで取り組める身の丈に合った林業スタイルとして、今、全国的に注目を集めつつある自伐林業の新しい流れと、その実践事例について講演して頂きます。お気軽にご参加ください。

『自伐型林業講演会 ～私たちの手で拓く里山の未来～』

日時：平成29年10月30日(月) 18:00～

場所：大豊町農エセンター 2階 第4会議室

参加費：無料(事前申込み不要)

主催：おおとよ森援隊 ※『おおとよ森援隊』は、大豊町で自伐型林業を目指す有志の集まりです。

後援：大豊町役場 お問合せ：おおとよ森援隊 坂本(TEL 090-6777-3153)



あなたの住む集落で「貸したい/売りたい」
空き家をご存じないですか?
大豊町での暮らしを望む方がいます。
文化・風習を継承したい方がいます。
貸しても(売っても)いいという家主さんが
いたら、ぜひご連絡ください!

080-8635-2253



中嶋 健造さん

高知県小規模林業推進協議会 会長
NPO自伐型林業推進協会 代表理事
NPO法人土佐の森救援隊 理事長
「自伐型林業」を全国に提唱。



宮崎 聖さん

シマントモリモリ団 団長
高知県小規模林業推進協議会 副会長
四万十市を中心にカヌーガイドや
貸コテージなどの傍ら自伐型林業を実践。

今年もやります！

そば作り文化を後世に伝える
そば物語「種まき編」



▲まずはそば撒きの説明から



▲自分の列にそばの実を撒きます。



▲標高約680mの畑。いい天気です。

昨年からはまった、そば作り文化を後世に伝えるためのプロジェクト「そば物語」。二回目となる今年は、昨年の反省点を踏まえ新しい挑戦をしました！

昨年は初めてのそば蒔きということもあり、かなりばらつきのある種まきになってしまい、収穫が大変でした。そこで、今年はすじまきに挑戦！畑に線を引いて、その線に沿って種まきをしました。その結果…すじ状にそばが！これで収穫がしやすくなればうれしいですね！

種を蒔いた後は、下村理事長によるそば打ち講座！初めてそば打ちをする参加者がほとんどだったのですが、みなさん上手にそばを打ち上げました！初めてとは思えない出来でみんなびっくり。自分たちで打ったお蕎麦と、地域で取れた野菜を使ったピザでおいしくお昼ごはん。

まだまだ始まったばかりの「そば物語」ですが、今年もおいしいそばの実が収穫できるよう頑張ります！

そして、私たちが作ったそば粉で作る「おおとよガレット」を、下記にて販売します！みなさんぜひお越しください！

(中平)



▲自分で打った蕎麦の味は格別



▲今年はすじ状に芽を出してくれました！

大豊町の名物づくり
プロジェクト

そば粉のクレープ
「おおとよガレット」出店予定

10/15 (日)
土佐の豊穰祭 in 嶺北
ゆとりすとパークおおとよ

10/28 (土)
元親こじゃんと楽市
高知市長浜・若宮八幡宮境内

11/3 (金・祝)
山北みかん
こもればいマルシェ
香南市・山北イベント広場

11/19 (日)
ジビエグルメフェスタ
ゆとりすとパークおおとよ



連載コラム

フェイス to 地球温暖化

フェイス to 地球温暖化のコラムも(小水力発電の記事を入れて)今回で10回目。秋の夜長、地球温暖化に関する図書の紹介をと考えていたところ、まさに核心をついた新聞記事の登場。高知新聞、9月2日(土)の「核心評論」のコーナー。共同通信編集委員、井田徹治氏による「エネルギー基本計画・原発、石炭重視見直しを」です。

「一体、いつまで現実から目を背け続け、市民の声に耳をふさぎ続けるのだろうか。」で始まります。拡大鏡が必要かもしれませんが全文を紹介させていただきます。

文中、二つの箇所です思ったことがありました。一つは、「市民の声に耳をふさぎ」とありますが、市民の声は耳をふさぐと表現されるほどに湧き上がっているのか高まっているのか、あるいは届けようとしているのか……、ということ。そしてもう一つは、「不都合な真実」という言葉。これは、アメリカの前副大統領ゴア氏が地球温暖化に警鐘を鳴らすために制作した映画「不都合な真実」をもじった表現だと思えます。読み終えて、政策に対しての厳しい言葉は取りも直さず我々に向けての言葉ではないかと感じました。

なお、“NPO法人元気おおとよ・環境部会”では『映画(DVD)「不都合な真実」を見る会』を考えています。よろしくお祈りします。(下村)



9月2日(土)高知新聞から